

審 議 会 等 の 会 議 結 果 報 告 書

		課所名	健康推進課	
会 議 名	令和 7 年度 第 1 回 諏訪市健康づくり計画策定専門委員会 及び 諏訪市食育推進計画専門委員会（合同会議）			
開催日時	令和 7 年 4 月 24 日（木） 午後 1 時 30 分 ～ 午後 2 時 35 分			
開催場所	諏訪市保健センター2 階 多目的ホール			
出席者	（出席者） 【健康づくり計画策定専門委員会】 小平 宏委員、 関 萌季委員、 藤原希美委員、 折井こずえ委員 秋山 清委員、 藤森恵子委員、 上井美保委員、 名取まゆみ委員、 （兼 食育） 【食育推進計画専門委員会】 伊藤美保委員、 宮坂智明委員、 武居彩幸委員、 名取里佳子委員、 向山真由美委員、 小林裕子委員、 牛山美恵子委員、 林幸子委員 後藤慎二副市長、 守屋和則健康福祉部長、 濱秀憲健康推進課長、 矢澤祐美健康予防係長、 小口直子健康支援係長、 笠原和洋健康予防係主査 吉田祥子健康予防係主査、 中城弓枝健康支援係主査、 草間裕美健康支援係主査 大河原とおみ健康支援係主査 市川結菜健康支援係主事 （欠席者）委員：進藤久美委員（健康）			
資料	別添			
協議議題（内容）及び会議結果（要旨）				
1. 開会（健康推進課長）				
委嘱状交付				
2. 副市長あいさつ（副市長）				
皆様においては、各委員会の委員を引き受けていただいたこと、本日の会議に出席をしていただいたことに心から感謝申し上げます。さらには、常日頃、それぞれの立場で当市の健康づくりや食育推進のために尽力いただき、御礼申し上げます。皆様には、2026 年度（令和 8 年度）を初年度として 5 年間を計画期間とする新たな健康すわプラン 2026 の案の策定をお願いすることになる。また、これまでは健康づくり計画と食育推進計画を一体的に策定していたが、新たな計画においては、そこに自殺対策計画を取り込んでいくこととしている。本日の議事において、計画の概要やスケジュール等の説明をするが、それぞれの立場の知見をもって忌憚のない意見を出していただき、実効性のある計画案の検討をお願い申し上げます。 諏訪市役所では、4 月 1 日に健康経営宣言をした。市役所の組織にとって職員は、大切な財産であり、すべての職員が心と体の健康の維持はもとより、円滑なコミュニケーションと信頼関係の構築を大切にし、お互いの人権を尊重して多様な価値観を受け入れ、意欲的に働ける職場環境の実現を目指して健康経営に取り組むことを宣言したものである。民間企業においては、				

すでに多くの企業で健康経営の視点を採用しているが、諏訪市役所としてもこの宣言をすることで、健康経営に取り組んでいく。

委員の皆様には、計画案の策定までご尽力をいただくことをお願い申し上げ、冒頭の挨拶とさせていただきます。

(委員長及び副委員長の選出)

健康づくり計画策定専門委員会の委員長に諏訪市医師会の小平宏理事、副委員長に諏訪市社会福祉協議会の関萌季福祉係長を選出した。また、食育推進計画専門委員会の委員長に長野県栄養士会諏岡支部の藤森恵子支部長、副委員長に諏訪市食生活改善推進協議会の伊藤美保会長を選出した。

3. 正副委員長選出・あいさつ

【小平委員長】市民の皆様の健康増進のため、委員の皆様と力を合わせて諏訪市の健康づくりに貢献できるように努めていくので、お願い申し上げます。

【関副委員長】社会福祉協議会においては、地域の様々な住民グループや団体と連携して活動をしている。皆様からの意見を聞きながら、計画を作っていきたいので、よろしくお願いしたい。

【藤森委員長】栄養士会としても、食育推進はとても大切なことだと考える。皆様とともに計画を作っていきたいので、よろしくお願いしたい。

【伊藤副委員長】食育において、食生活改善推進協議会（食改）の立場でお役に立てればと思っているので、よろしくお願いしたい。

4. 議事（進行：小平委員長）

(1) 計画策定スケジュール

■事務局より説明

計画の概要、計画策定スケジュール

■質疑応答・意見

質問・意見なし。

(2) 市民健康意識アンケート案

■事務局より説明

市民健康意識アンケート案

■質疑応答・意見

【委員】アンケート調査人数が2,000人の理由は。十分な調査ができるのか。

【事務局】現状を把握するために必要な人数であると思われる。

【委員】前は、年代別の結果を出しているか。

【事務局】現計画の冊子P58に掲載している。

【委員】2,000人への通知に加えて、市報等への掲載を考えてみてはどうか。

【事務局】統計の考え方等に基づき、検討したい。

【委員】回答数が多いと、「意識が高い」と受け取ることもできるため、先程の意見について、市報等への掲載をするのであれば、2,000人とは分けて集計するのがいいと思う。前々からのデータを基にアンケートを取るのも一つだが、今の市の課題を解決するために、市民がどう思

っているか聞くのも一つだと思う。例えば、フレイル予防やサルコペニアなどにならないために、高齢者がタンパク質を意識して摂取しているかを聞くのもいいと思う。昔から、野菜だけをたくさん採っていただければいいと思ってしまっていると、低栄養になってしまう。

現計画の冊子 P58 に市内の地区別の割合があり、上諏訪地区の割合が高いが、アンケート調査は、地区の抽出も無作為か。

【事務局】地区の抽出も無作為である。上諏訪地区は、アンケートの回答率が高い 65 歳以上の市民が住んでいる割合が高いからではないかと考えられる。

【委員】地域で特色があり、その特色をターゲットにするなど、このアンケートを取った結果を基に取組ができればと思う。

【事務局】市全体としてアンケートを取っている。上諏訪地区とそれ以外の地区では、年齢構成が異なる。例えば、子どもが多い中洲地区に比べて、上諏訪地区ではどんな違いがあるのか、今回のアンケート結果で比較するよう考えたい。

【委員】アンケートを取って、それをどのように使っていくかという点において、計画を策定する中で地区ごとの分析をするなど、より踏み込んだ計画にできると面白いと思う。

【事務局】地区ごとにアンケートを実施したことはないが、国民健康保険のシステムで地区ごとに算出することはできる。しかし、市の区割りとシステムの区割りの基準が異なるため、正確に数値を出すことは難しい。地区ごとの数値を出すことは大切なので、アンケートとシステムによる分析をしていきたい。

【委員】学校では、小学 5 年生、中学 2 年生に 3 年ごとに県でアンケートを取っている。また、諏訪市でも毎年独自でアンケートを取っている。項目は、おおよそこれらのアンケートと同じ内容である。今年は、郷土食に力を入れ、子どもたちに「郷土」のものとして認識させたいと考えているため、親の世代に対してもアンケートを取ってもらえることはありがたい。小鉢 1 皿の量が分かりにくいと思った。子ども向けには手の平いっぱいと表現している。

【事務局】小鉢の量については、アンケートの注釈で目安量を載せているが、もう一度担当者と検討したい。

【委員長】アンケート調査は、すべての市町村で実施しているのか。

【事務局】すべての市町村かどうかはわからないが、計画を策定する際には、多くの自治体がアンケートを実施している。今回のアンケートは、他市町村のものも参考にしている。

【委員長】県の計画策定の際など、スタンダードな質問はあるのか。

【事務局】目標値を定めるに当たり、確認したい。

5. その他（健康推進課長）

今回は、健康づくり計画策定専門委員会を 8 月 21 日、食育推進計画専門委員会を 8 月 5 日に開催したいと考えている。委員の皆様には、ご多忙のところ恐縮ではあるが、ご理解とご出席をお願いしたい。

6. 閉会（関副委員長）

本日は、ありがとうございました。次回は 8 月に各委員会が開催される。アンケート結果が出そうなので、皆様のそれぞれの視点から様々なご意見をいただきながら、よりよい計画案を作っていければと思うので、今後ご協力をお願いしたい。（午後 2:35 終了）